美（うま）し国づくり大賞 特別賞を受賞しました

6月27日(木)、東海大学校友会館(東京都千代田区霞ケ関)において、揖斐川町が、「美(うま)し国づくり大賞特別賞」を受賞しました。

この賞は、特定非営利活動法人　美し国づくり協会が、「美しい」の大和言葉である「美(うま)し」国づくりとして、美しい景観づくりに関わる活動・取組みに対して表彰するものです。

今回のテーマは「和らぎ」で、「揖斐川町における多様な地域景観の美しさ形成を内部目的と捉えた住民主体の共創事業」として、全国育樹祭後の谷汲緑地公園における森のようちえんや、月夜谷ふれあいの里での新たな取組み、町未来センター会議の取組みなどが評価され、今回の特別賞受賞となりました。

このように町では、今後も美しい景観を次世代へ引き継げるような取組みを推進していきます。

▲美し国づくり協会から受賞した表彰状

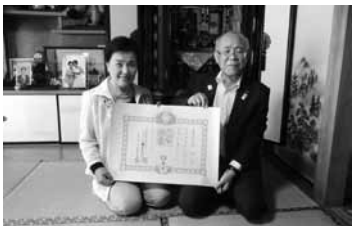
叙位(従六位)・叙勲(旭日双光章)を受章されました

平成31年3月25日に亡くなられた林幹夫(はやしみきお)さん(北方)が従六位及び旭日双光章を受章され、富田町長よりご家族へ伝達が行われました。

林さんは、平成7年10月から平成31年3月までの永きにわたり揖斐川町議会議員として在職され、平成11年10月から1年間を副議長として、更には平成25年3月から平成26年3月までと、平成27年3月から平成28年3月まで2年間を議長として、議会の円滑な運営に尽力されました。

また、民教常任委員会委員長、建設常任委員会委員長、総務常任委員会委員長等の要職を歴任され、町の振興発展に多大な貢献をされました。

これらの生前の功績が認められ、今回の叙位・叙勲の受章となりました。この多大な功績に対し、敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りします。


▲叙位・叙勲の伝達が行われました

夢の教室 ～夢をもち努力する大切さを学ぶ～

7月1日(月)から5日(金)まで、町内小学校5年生と中学校2年生を対象とした「JFAこころのプロジェクト『夢の教室』」が開かれました。

この事業は、夢をもつことやその実現に向けて努力することの大切さ、仲間と協力することの大切さを子どもたちに伝える目的で、日本サッカー協会から講師を招いて実施しています。

5日(金)は、小島小学校において、夢の教室が開かれました。この日の「夢先生」は、サッカーJリーグで活躍された長谷川太郎(はせがわたろう)さんが務めました。前半はチームワークの大切さを学ぶゲームで心と体をほぐし、後半は長谷川さんから夢を実現するまでの体験談を聞きました。児童は、「小さな約束を決め、それを積み重ねることが夢につながる」という長谷川さんのお話を熱心に聴きながら、自分の将来の夢について考えました。

▲夢先生（中央）と一緒にゲームの作戦を立てる子どもたち

粕川ミズベリング事業「ミズカラ～音色～」を開催しました

7月7日(日)、粕川オートキャンプ場周辺の河川敷で、ミズベリング事業「ミズカラ～音色～」を開催しました。

これは、粕川の一部区間が美濃地方で初めて都市・地域再生等利用区域に指定され、民間事業者等による出店やイベント等の開催が可能となったことで、4月に続き、ドリンクやかき氷などの軽食販売をはじめ、テントサウナ体験やアコースティックライブなどさまざまなイベントが行われました。

訪れた人は、きれいな音色の下で楽しい時間を過ごしていました。

今後も様々なイベントを企画する予定です。お楽しみに。

小学生県外派遣団認定式

7月16日(火)、揖斐川町役場で小学生県外研修派遣事業の認定式が行われました。

今回の研修は、揖斐川町と友好都市提携を締結している北海道芽室町に、今年で17回目の派遣となる12人の児童が大規模農業などを体験し、地域に開かれたダム全国連絡議会などで交流を深めている高知県宿毛市に、今年で9回目の派遣となる8人の児童が漁業などを体験します。

なお、この研修により、地域の人々との交流を深めることで、感性豊かな児童を育成し、将来の揖斐川町の人づくりに寄与することを期待します。

▲認定証を受けとる児童

北海道芽室町の児童が来町

7月30日(火)、揖斐川町と友好都市提携を締結している北海道芽室町の小学生派遣団14人が町長を表敬訪問しました。

派遣団は、当町に31日(水)まで滞在し、30日(火)には揖斐小学校を訪れ、お互いの町と小学校の紹介を発表するなどして交流しました。

その他には、谷汲山華厳寺の参拝やいび茶の里でのお茶の入れ方講座、歴史民俗資料館の見学、徳山ダムの見学木工体験など町内各地で研修を行いましたが、小学生派遣団は、厳しい暑さに負けず揖斐川町を満喫しました。

▲北海道芽室町からの派遣団

いびがわの祭り ～ありがとう花火～

8月3日(土)、いびがわの祭りが開催されました。

朝からは、揖斐川町商工会和岡支部、胜永支部によるバザーが行われ、夕方からは、「屋台村」や「民踊流しおどり」、「行灯かざり」が行われるなど、会場多くの人で賑わいました。

また、祭りの最後を飾る「ありがとう花火」では、みんなの願いや感謝をこめてシールに書いて貼った花火玉約6500発が、皆さんから寄せられたメッセージとともに、いびがわの夜空に打ち上げられると会場に訪れた約37,000人を魅了していました。

▲いびがわの夜空を彩った花火

▲花火の打ち上げ会場に向かう人で賑わいました

友好都市 芽室町だより

夏休み・芽室町訪問

毎年の恒例行事となっている、揖斐川町小学生の芽室町訪問。今年は8月23日～27日の5日間の日程で訪問しています。

訪問中、子どもたちは芽室町内の農家宅にホームステイします。どこまでも続く広い畑や、大型の農業機械にびっくり！まっすぐにのびる道や風景、気温などは揖斐川町とまったく違います。地元との違いを通じて、芽室町のことをよく知ってもらい、また地元への愛着を深めてもらえると思います。そのほか、町内小学校での交流や初めてのゲートボール体験、チーズ工場の見学など、芽室町ならではの体験をしてもらう予定です。

訪問中の様子は、芽室町フェイスブックでも発信する予定ですので、元気な子供たちの様子もぜひご覧ください。

5日間の滞在ではありますが、少しでも子どもたちの心に残る体験となれれば嬉しいです。

H 30 写真